

議会の半数、議案丸のみ

2011 地方選 議会は いらない?

全国の地方議会のうち、首長が提出した議案をこの4年間で一本も修正や否決していない「丸のみ」議会は50%、議員提案の政策条例が一つもない「無提案」議会が91%、議員個人の議案への賛否を明らかにしない「非公開」議会が84%。朝日新聞の全国

自治体議会アンケートで、こんな議会のていたらくがはつきりした。いずれにも当てはまる「3ない議会」は全体の3分の1に及ぶ。

- 3面になれ合いと改革、16
- アンケートは1月、都道府県と市区町村の計1797の議会を対象に実施した。回収率は100%だった。

2007年1月からの4年間で、首長提案の議案数は1議会あたり平均414本。修正または否決が3本以下の議会が全体の82%を占めた。地方分権に伴い、議員には

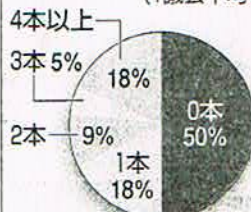
住民のくらしに即した条例づくりが求められるが、4年間で議員提案の政策条例の制定数が1本以下の議会が98%にのぼった。個々の議員の議案への賛否は、議員の評価に不可欠な情報だが、公開している議会は16%しかなかった。

「行政監視」「政策立案」「情報公開」のすべてが不十分な議会は全国でも65%議会。京都、兵庫、広島、香川、福岡の5府県議会のほか、県庁所在地では福島、宇都宮、甲府、富山、金沢、和歌山、松江、松山、佐賀、大分、鹿児島

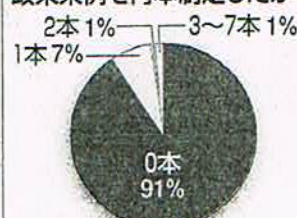
島の11市議会が該当した。

全国自治体議会アンケート

この4年間の首長提案の議案で修正や否決をしたのは何本か?
(1議会平均414本)



この4年間で議員提案の政策条例を何本制定したか?



議案に対する議員個人の賛否を公開しているか?



The Asahi Shimbun

全715議案で修正なし 首長提案分

区長交代で180度転換 首長の多選

2011 地方選

議会はいらない?

1面参照

北関東で唯一の50万都市、宇都宮市の議会(定数50)も「3ない議会」のひとつだ。ここは議員の本会議で一般質問を年2回までに制限している。理由は議会の「円滑な運営のため」で、4年前に「申し合わせ」で明文化した。気がつけば、4月の任期切れを前に一度も質問に立っていない議員が6人いる。

この間、市長が提案した議案は715本。すべてそのままだ。副議長で最大会派の自民党議員(26人)の金子和義さん(64)は、「事前に我々の意見が反映されているから違和感はない」。

議会には自民をはじめ、民主・公明など計七つの会派がある。だが、政策案を提案した議員はひとりもない。議会の広範な議案の採決について、議員個人はもちろん、会派の賛否すら載せていない。これでは市民は、議員の仕事ぶりを評価しにくい。

こんな議会が2年ほど前、ちよとした話題になった。「市の緊急経済対策に使うのはいい」。

自民党の全議員26人は2008年末、「よき市民に役立つ方法」として、月額12万円の政務調査費4カ月分を返上した。無所属議員も応じ、返還総額は1300万円を超えた。

リーマン・ショック後の一時的な対応とはいえ、住民のための政策を調査・研究する費用の返納に、他の会派からは「議員の仕事放棄する自虐行為だ」との批判が出た。政調費の使い道について領収書添付が義務づけられた直後

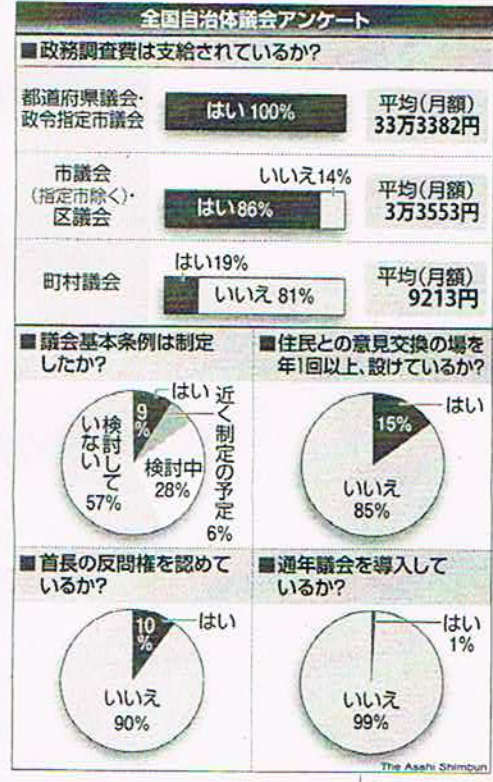
で「いい加減な使い方ができなくなり、余っていたのさ」との声ももれた。

政調費は昨年度から月額10万円に減らしたが、最近では会派の宣伝紙にも使われる例が増えた。昨年末の自民党議員会のそれは8人でオールカラー。議員の真中に市長が座る写真が3枚、全議員の顔写真の市地図もあり、今春の統一地方選向けのチラシのようだった。

宇都宮市

「いい加減な使い方ができなくなり、余っていたのさ」との声ももれた。

政調費は昨年度から月額10万円に減らしたが、最近では会派の宣伝紙にも使われる例が増えた。昨年末の自民党議員会のそれは8人でオールカラー。議員の真中に市長が座る写真が3枚、全議員の顔写真の市地図もあり、今春の統一地方選向けのチラシのようだった。



■東京・杉並区

全国初の首長の多選自禁条例を制定した東京都杉並区議会(定数48)は昨年末、それを廃止する条例を可決した。昨夏に当選した新区長が廃止を提案した。すると、2003年に条例に賛成し、その後もうつと議員だった16人のうち15人が、正反対の趣旨の廃止案に賛成した。

「区長の任期を縛る条例の是非は、当事者である区長の意見を尊重すべきだ」。昨年12月、最大会派「新しい杉並」(16人)の藤本直也さん(39)は、会派を代表して賛成意見を述べた。同じ会派で7

■岡山市

岡山市は09年4月に政令指定市に昇格した。しかし、現在も、議員個人どころか「会派の賛否の記録そのものをとっていない」(議会事務局)状況が続いている。

■愛知・犬山市

愛知県犬山市議会(定数22)は昨年の9月議会から、議員の賛否の一覧表を公表し始めた。きっかけは、昨春の議員定数削減案について一部の議員が無記名投票を求めたこと。自分の議決の責任を逃れようとする態度で、市議の山田拓郎さん(37)は落選し、「議案への態度を市民に明らかにする」のは議員として当然と公表を提案。全員協議会も全会一致で応じた。

議員が政策案を制定した議案は9%で、08年調査から横ばい。だが、議員が住民とともに自治体財政を調べあげた例は、06年の北海道夕張市

「新しい杉並」の姿そのものが、首長と議会の微妙な関係を物語る。区長選で戦った民主・自民両党の区議が合体し、結成したのだ。藤本さん区長選では敵対したが、いまのこの区長提出の議案に反対したことはない。

東京23区のうち「3ない議会」は18。杉並は免れたが、区長提案の議案を一本だけ修正したのが理由だ。12日には議会改革の一環で「休日議会」を開くが、区長と議員の間合いなど考えるべき課題は多い。

議会基本条例

議会での議論を活性化させる議会運営のルールを定める条例。06年に北海道夕張市の隣、栗山町が全国で初めて制定した。首長ら執行部が議員に逆質問できる「反問権」や、議員同士の自由討議、議会での審議内容を住民に伝え、意見を交わす「議会報告会」の導入を盛り込むケースが多い。

今回の調査では「3ない議会」とは逆の「修正・否決も提案も公開している」とい

岡山市議会(定数53)にこんな陳情があったのは08年9月。「次の市議選でたれを選ぶか判断するため」に、市内の男性が求めた。

議会運営委員会では賛成論も出たが、「機が熟していない」「諸般の事情により今まで通りで」というあいまいな反対論にかき消された。

その席で「ちよと難しい」と述べた楠木忠司さん(64)は「私はよくても、会派としてはダメだった」と振り返る。岡山市議会では自民系が割れており、楠木さんの会派は保守系6人と労組系4人の「混成部隊」。だから「最大公約数を会派の結論にする。今の民主と同じでいい」。

会派内には、パソコンを使わない議員もおり、「インターネットが政治に利用されるのは不公平」と反対したという。

目をこらせば、改革のさざ波は立ち始めている。議員の賛否の公表は、08年に朝日新聞などが実施した全国調査で5%台だったが、今回は16%になった。

福島・会津若松市

福島県会津若松市議会(定数30)の総務委員会は7日、議会独自の市の長期財政分析報告をまとめた。市民から「夕張にならぬのか」と問われたことが発端で、うまく答えられなかった議員たちが2年余り、大学教授も交えて研究した。財政健全化条例をつくらせた岐阜県多治見市などを視察し、570億円ある市の借金の返済方法を議会独自の指標を用いて調べた。

報告をまとめた総務委員長目黒章三郎さん(58)は「市長が大規模な公共事業などを提案してきたら、維持費も含めた財政の見通しを独自に試算し、市民に提供するのが議会の説明責任」という。その先にあるのは「市民と議会と政策・市民」という政策形成サイクルの確立だ。

会津若松市議会はこの4年間、議員提案の政策案を一つも採っていないが、目黒さんは「執行部がやらないなら、議員提案で財政健全化条例をつくらせよう」と意気込んでいた。

自治体財政独自調査

自治体財政独自調査

今後、議会改革の力牛を握りそうなのが住民によるチェックだ。東京都国立市や川崎市など各地で広がる。仙台市議会(定数60)を見つめてきた市民団体「議会ウォッチャー・仙台」は19日、初めの議会通信簿を発表する。

この3年間の本会議でのすべての質問を対象に、議員を9点満点で採点。順位を付ける。評価基準は①事前に現場を調査したか(4点満点)②質問で他の都市と比較したか(同2点)③改善案を提案したか(同3点)。本会議場での「居眠り、私語、席を離れたか」の3項目も評価対象だ。

メンバーは退職者や主婦、弁護士ら約20人。事務局の庫山恒輔さん(65)は「住民も議会の議論を吟味する作業をしつかりやっていた。これを機に多くの市民に参加してほしい」という。

(有馬史記、伊藤景子、編集委員・菅沼栄一郎、同・坪井ゆづる)

住民チエツク広がる

住民チエツク広がる

う議会は19日だった。改革派知事のいた岩手、宮城、三重県議会、知事の緊張関係が続く大阪府議会のほか、札幌市、千葉県流山市、京都府京丹後市などだ。

仙台市